

横浜市中小企業振興基本条例に基づく

令和2年度 of 取組状況について

1 中小企業振興施策の実施状況について 2

【報告書掲載事業】 3事業／全体 67事業

番号	事業名	掲載頁
33	ヨコハマ・グッズ「横濱001」育成支援事業	2（冊子33）
61	創造的ビジネス・コーディネート事業	2（冊子45）
62	MICE誘致・開催支援事業	3（冊子45）

2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大
について 4

R2決算額	2,210
R1決算額	2,763

＜事業・取組のねらいと概要＞

(文化観光局観光振興課)

横浜観光のPRと地域ブランド育成を目的に、ヨコハマ・グッズ「横濱001」として認定する商品を二年に一度開催する認定審査会で決定し、認知度向上や販路拡大の支援を行っています。また、会員企業の多くは市内中小企業であり、企業単独では困難な広報活動、情報発信、販売促進等への支援を行い、中小企業支援に取り組みました。

【令和2年度の具体的な実績・成果】

○会員企業数

主な指標・実績	第18期(令和元～3年度)	第17期(平成29～30年度)
会員企業数	95社	100社
(うち中小企業数)	(85社)	(84社)

○認知度向上や販路拡大の支援及び活動実績

- ・広報活動等への支援(TV、ラジオ、新聞等の掲載等)
- ・情報発信等への支援(HP、SNSでの発信等)
- ・販売促進等への支援(ヨコハマ・グッズショップで年末年始のキャンペーン実施)

＜改善の取組＞

- ・宣伝動画を作成し、あかいくつバス等で放映
- ・横浜市ふるさと納税返礼品への参加

＜課題と今後の対応＞

ヨコハマ・グッズ「横濱001」の認知度やブランド価値を向上させるため、認定審査会で認定した特色ある商品について、様々な媒体や機会を活用して広報、発信の支援を行うことにより、ブランド育成等につなげていきます。また、会員企業のマッチングを通じて、コラボ商品の開発支援を行い、更なる魅力創出につなげます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1年延期していた第19期認定審査会を令和3年度に実施し、認定商品等を対象に育成支援をしていきます。

R2決算額	16,051
R1決算額	21,510

＜事業・取組のねらいと概要＞

(文化観光局創造都市推進課)

クリエイターと企業・地域との協働を進め、新たなビジネス機会を創出することを目的とした事業です。

クリエイターの創造性を生かした商品(クリエイターグッズ)の開発支援と売場(ショップ)の設置運営のほか、クリエイターと企業・地域との協働による事業等への助成を通じた支援を行いました。

【令和2年度の具体的な実績・成果】

- ・市内中小企業・クリエイターが開発した商品の販路開拓のための売場(クリエイターグッズ・ショップ)の設置
(参加企業・クリエイター数:45組)
設置期間:令和2年7月16日から10月11日まで
設置場所:プロット48(ヨコハマトリエンナーレ2020会場)
※その他、令和2年7月から令和3年3月下旬までに6店舗で期間限定販売

＜改善の取組＞

令和2年度はコロナ禍の状況を踏まえ、クリエイターの創造性を生かした「新しい生活様式」に対応する取組を募集し、事業の採択に繋がりました。

＜課題と今後の対応＞

クリエイターの創造性を生かした新たなビジネス機会の創出につなげるため、助成対象を広げる等の見直しをすることで、より効果的な支援策を実施します。

また、経済局と連携し、クリエイターのマッチング等、相互のネットワークを活用した効果的な支援を実施します。



【プロット48 ショップ】

R2決算額	216,614
R1決算額	36,598

＜事業・取組のねらいと概要＞

(文化観光局MICE振興課)

国際会議等のMICEの誘致・開催支援及びMICE関連産業の育成を目的とした事業です。

感染症対策など新しい開催形態に対応したMICE開催を支援し、市内経済活性化を図るため、「横浜MICE開催応援プラン」及び「安全・安心な横浜MICE開催支援助成金」により、MICE主催者に開催経費の一部を助成しました。

【令和2年度の具体的な実績・成果、市内企業の声等】

市内中小企業等から調達した物品やサービスを現物で支給する「横浜MICE開催応援プラン」では主に感染症対策に関する物品を助成しました。また、補正予算「安全・安心な横浜MICE開催支援助成金」では、会場費や機材費などのハイブリッド形式等に係る費用を助成しました。市内企業からは、「助成金があることで契約に結びつけることができた。」などの声が寄せられました。

- ・MICE開催支援件数： 75 件
- ・市内中小企業への発注： 146 社

＜改善の取組＞

主催者が安全・安心なMICE開催ができるよう、感染症拡大のリスクを抑えるためのMICE開催のガイドラインを策定するとともに、ハイブリッド形式や感染症対策に係る経費を助成対象としました。

＜課題と今後の対応＞

ハイブリッド形式等の新しい開催手法が普及し、感染症拡大下にあってもMICEが開催されるようになった一方で、開催費用の増など主催者の負担が大きくなっています。

今後も感染症拡大による影響が継続すると想定されるため、主催者のニーズに対応した開催支援制度の見直しを図るとともに、市内中小企業への発注が促進されるよう支援制度の見直しを行います。

※ハイブリッド開催：
会場開催とオンライン開催の両方を行う形式

2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

(1) 令和2年度の受注機会増大に向けた取組

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、市内経済の活性化の観点から、従来から市内業者への優先発注を基本方針とし、市内業者の入札参加機会の確保のため、専門事業者への分離発注やコスト面を考慮したうえでの分割発注を進めてきました。

令和2年度の市内中小企業者への発注状況については、構成比率(合計)として、件数で89.2%、金額で62.0%となっています。前年度からの増減では、件数は0.5ポイントの増加、金額は7.9ポイントの増加となっています。

(2) 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、今後も有資格者名簿により対象業者の所在区分及び企業規模の確認の徹底や積極的な市内のアーティスト・クリエイターの活用などにより、一層市内中小企業者への優先発注を図るとともに、適切に分離・分割するなど受注機会の拡大を図ります。

また、やむを得ず市内中小企業者以外へ発注する場合は、引き続き当該業者を選定する理由を発注何に明記するとともに、理由の確認を徹底します。

市内中小企業者への発注状況(文化観光局契約分)

区 分	契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)									単独随意契約及び大規模契約の合計	
	市内中小企業契約実績									件数	金額
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減	件数	金額			
	件	%		千円	%		件	千円	件	千円	
令和2年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	43	93.5	▲ 1.6	2,373	94.4	▲ 1.9	46	2,513	12	4,757,346
	委託	48	85.7	4.5	47,272	60.9	8.2	56	77,617	56	320,877
	合計	91	89.2	0.5	49,645	62.0	7.9	102	80,130	68	5,078,223
令和元年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	77	95.1	▲ 3.8	3,177	96.3	▲ 2.4	81	3,298	10	4,168
	委託	56	81.2	▲ 8.2	52,968	52.7	▲ 16.0	69	100,524	106	408,720
	合計	133	88.7	▲ 6.2	56,145	54.1	▲ 16.9	150	103,822	116	412,888

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」は、それぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)」を除いたものです。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況(財政局契約部契約締結分)

区 分		契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)								単独随意契約及び 大規模契約の合計	
		市内中小企業契約実績						件数	金額		
		件数	構成比率	前年度か らの増減	金額	構成比率	前年度か らの増減			件数	金額
令和 2 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	3	60.0	▲ 28.9	1,440	19.8	▲ 70.5	5	7,288	0	0
	委託	1	50.0	▲ 50.0	3,502	27.1	▲ 72.9	2	12,907	2	2,706
	合計	4	57.1	▲ 33.8	4,942	24.5	▲ 71.5	7	20,195	2	2,706
令和 元 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	8	88.9	15.6	3,375	90.3	46.0	9	3,737	3	19,343
	委託	2	100.0	0.0	5,238	100.0	0.0	2	5,238	2	2,519
	合計	10	90.9	14.4	8,613	96.0	37.1	11	8,975	5	21,862

- ※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。
- ※ 「構成比率」は、それぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合です。
- ※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。
- ※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)」を除いたものです。